

21. 建物被災状況簡易チェックシート

建物被災状況簡易チェックシート

営繕課作成
平成25年1月

はじめに

このシートは、大地震が発生した直後で、応急危険度判定が実施される前に、区有施設等を緊急で使用する場合に使用します。

目的は、建物が当面使用できる状況か否かを、簡易な方法で一般職員が行える判定用シートとして構成しています。

そのため、建物の安全性を保証するものではなく、当面の使用に耐えるであろうと想定する状況の確認を行うためのものです。

専門職員による応急危険度判定で判断されるまでは、危険箇所等がある場合も考えられますので、常に安全確認を行ってください。

調査方法

1. 職員が2名以上で調査を行ってください。その際、相互に安全に留意した行動をお願いします。
2. 調査方法は目視で行います。該当箇所があれば1か所でもチェック を入れます。
3. 調査範囲は建物の外部と内部があります。外部調査で「要注意」「危険」と判定が出た場合は、内部には入らないで調査を終了してください。
4. 内部調査は、足元と頭上を特に気をつけて行ってください。天井の落下、床の崩落等が見られた場合は、近づかないでください。
5. 危険と思われる場所には、貼り紙などで立入禁止や、注意喚起を行うようにしてください。
6. このシートで「要注意」、「危険」と判定がでたときは、危険性が高いので、建物を使用しないでください。緊急で止むを得ない場合は、専門職員による判定を待って、使用するようにしてください。

		質 問	該 当 項 目
施設 周辺	1	隣接する建物が傾き、区有施設の建物に倒れ込む危険性がありますか？	<input type="checkbox"/> ① いいえ <input type="checkbox"/> ② 傾いている感じがする <input type="checkbox"/> ③ 倒れ込みそうである
	2	建物周辺にがけ崩れ、地割れ、噴砂、液状化、地盤沈下などが生じたか？	<input type="checkbox"/> ① いいえ <input type="checkbox"/> ② 生じた <input type="checkbox"/> ③ ひどく生じた
	3	区有施設の建物が沈下しましたか？ 若しくは、建物周辺の地面が沈下しましたか？	<input type="checkbox"/> ① いいえ <input type="checkbox"/> ② 生じた <input type="checkbox"/> ③ ひどく生じた
施設 外部	4	建物が傾斜しましたか？	<input type="checkbox"/> ① いいえ <input type="checkbox"/> ② 傾斜している感じがする <input type="checkbox"/> ③ 明らかに傾斜した
	5	建物の外壁が壊れましたか？	<input type="checkbox"/> ① 壁面にわずかに割れ目が生じている、壊れていない場合も含む <input type="checkbox"/> ② わずかな落下や目地にずれが生じた <input type="checkbox"/> ③ 壊れて部分的あるいは大きく落下している壁面全体に亀裂が生じた
	6	建物外部の柱や壁にひび割れがありますか？	<input type="checkbox"/> ① ないか、髪の毛ほどのひび割れがある <input type="checkbox"/> ② 比較的大きなひび割れが入っている <input type="checkbox"/> ③ 大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える
	7	外壁タイルやモルタル等が落下しましたか？	<input type="checkbox"/> ① いいえ <input type="checkbox"/> ② 落下しかけている、落下している
	8	窓ガラスが破損しましたか？	<input type="checkbox"/> ① いいえ <input type="checkbox"/> ② ガラスの割れた窓がある <input type="checkbox"/> ③ ガラスが割れ、窓枠も曲がった窓がある

外部からの判定

①	②	③	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここまでの調査の判定結果を左の集計表に記入してください。 ・ 判定に「②」又は「③」の該当項目があった場合は、施設内部に入ってチェックする必要はなく、質問9から14までの、施設内部についての点検は必要ありません。 ・ 施設内部には入らず、総合判定に進んでください。

		質 問	該 当 項 目
施設 内部	9	建物内部の床が壊れましたか？	<input type="checkbox"/> ① いいえ <input type="checkbox"/> ② 少し傾いている、下がっている <input type="checkbox"/> ③ 大きく傾いている、下がっている
	10	建物内部の柱、壁が壊れましたか？	<input type="checkbox"/> ① ないか、髪の毛ほどのひび割れがある <input type="checkbox"/> ② 比較的大きなひび割れが入っている <input type="checkbox"/> ③ 大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える
	11	建具やドアが壊れましたか？	<input type="checkbox"/> ① いいえ <input type="checkbox"/> ② 建具、ドアが動かない <input type="checkbox"/> ③ 建具、ドアが壊れた
	12	防火シャッターが閉じていますか？	<input type="checkbox"/> ① いいえ <input type="checkbox"/> ② シャッターは閉じているが、通ることはできる <input type="checkbox"/> ③ シャッターは閉じかつ壊れている、通ることはできない
	13	非常階段は通れますか？	<input type="checkbox"/> ① はい <input type="checkbox"/> ② 落下物が散乱しているが、通れる <input type="checkbox"/> ③ 落下物で通行できない
	14	天井、照明器具などが落下しましたか？	<input type="checkbox"/> ① いいえ <input type="checkbox"/> ② 落下しかけている <input type="checkbox"/> ③ 落下した

総合判定

<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 30px; height: 30px; text-align: center;">①</td> <td style="width: 30px; height: 30px; text-align: center;">②</td> <td style="width: 30px; height: 30px; text-align: center;">③</td> </tr> <tr> <td style="width: 30px; height: 30px;"></td> <td style="width: 30px; height: 30px;"></td> <td style="width: 30px; height: 30px;"></td> </tr> </table>	①	②	③				<ul style="list-style-type: none"> ・ 「③」の答えが一つでもある場合は「危険」です。施設内部には立ち入らないでください。災害対策本部に連絡してください。 ・ 「②」の答えが一つでもある場合は「要注意」です。施設内部には立ち入るのは控えてください。災害対策本部に連絡してください。 ・ 「①」のみの場合でも、危険性のある個所等がある場合も考えられますので常に注意して施設を使用してください。
①	②	③					

- ・ 余震により被害が進んだと思われる場合は、再度簡易チェックシートで被災状況を点検してください。
- ・ この簡易チェックシートによる判断は、あくまで臨時的なものであり、災害対策本部へ連絡し、できるだけ早く応急危険度判定員による判定を受けてください。

メディア連絡先一覧（参考）

＜新聞社＞

名称	TEL	FAX	E-mail
読売新聞東京本社	03-3242-1111		
(株)朝日新聞社	03-3545-0131	03-5540-7608	
(株)毎日新聞社	03-3212-0283	03-3201-3449	gaishinbu@mainichi.co.jp
東京新聞(中日新聞東京本社)	03-6910-2211	03-6910-2138	tsoumubu@tokyo-np.co.jp

＜放送局＞

名称	TEL	FAX	E-mail
日本放送協会(NHK)	03-5455-2444/2459	03-3469-8110	so2201-nhkpr@nhk.or.jp
日本テレビ放送網(株)(NTV)	03-6215-4444	03-6215-3153	
(株)TBS ホールディングス (TBS)	03-5571-2400	03-3588-6378	
(株)フジテレビジョン	03-5500-8212	03-5500-8027	eiko.katsukawa@fujitv.co.jp
(株)テレビ朝日	03-6406-1515	03-3405-3730	
(株)テレビ東京	03-5470-7777	03-5473-6393	pr@tv-tokyo.co.jp

＜通信社＞

名称	TEL	FAX	E-mail
(社)共同通信社	03-6252-8301	03-6252-8795	kokusai@kyodonews.jp
(株)時事通信社	03-3524-6028	03-3524-5505	wase@jiji.co.jp

※以上、「公益財団法人フォーリン・プレスセンター」ホームページより抜粋(2014年7月15日現在)

2013.8

Check List

一日の始まりにチェックしよう！

名前	毎日記入しよう！
緊急連絡先：自宅・勤務・（ ）→（ ）	
ボランティア保険の加入：済・未 当センターで加入できることがあります	
アレルギー（なし・あり（ ））	
体温（出勤前に計っておこう）℃ 脈拍時間（ 時間）	
血圧（出勤前に計っておこう）/	
昨日お酒を飲んだ：かなり・適度に・いいえ	
食欲：普段通り・低下気味・ない 朝食：食べた・食べてない	
便通：よい・よくない	
説明（活動により違います。持っているものに✓をつけてください）	
<input type="checkbox"/> 水・飲み物（多めに） <input type="checkbox"/> 服そで <input type="checkbox"/> 風ズボン <input type="checkbox"/> 安全な靴	
<input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> ゴーグル <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> タオル	
<input type="checkbox"/> 皮手袋（軍手は危険） <input type="checkbox"/> 保険証 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 救急セット	

「仕事ストレス」について

大勢の現場で活動した後、または帰社後に次のような心身の悪化を
経験することがあります。

- ①-興奮状態が続く ②-体調も高体温が続く ③-思い出すことを避ける
- ④-周囲の人と関係が悪くなる ⑤-睡眠も悪くなる

これらは「異常な状況下で活動したら、同じでも起こりうる状態」です。
この状態は少しずつ消えていくものですが、もし長引いたり、苦しさ
が取れない場合には、専門家に相談してみましょう。

メモ 今日の作業、作業リーダーの連絡、気になったことなどを書いておこう！

災害ボランティア活動

目からうろこ？

災害衛生ブチガイド

被災地の天気も調べておこう！
急に天候が変わることもあるよ。

ボランティアの受け入れをしているか確認しよう！

体調はどう？
帽子が暑いなら行かないようにね

履物先は手配した？

履物を持って行くものもきちんとそろえよう。

被災地に行ったら人の数も増えておこう！

どんな作業をするのかな？

1 「さあ、やると!!」

※裏表紙の子エックリストで確認しよう!

まず自分の体調を見極めよう。自己通信は禁物です。

仲間や被災地の人に迷惑をかけないために、

調子が悪い時は、無理せずに「活動しない」も選択肢。

※現地に行かなくてもできる大事な活動(義理金)がある。



2 「今日のお手伝いは?」

出発前にみんなを確認。今日の仕事はやったことがある?

作業にふさわしい服装? 装備や資機材は揃っている?

作業の安全チェックポイントを書き出せた?
だれが安全担当?



3 「無事に作業を進めるために」

現地についても、すぐ作業は始めない。

役割分担は? リーダーは誰? 危険は確認・排除した?

休憩時間は決めた? 飲み物は十分用意してある?

みんなでチェック! みんなで守ろう!!

休み時間はみんなで一斉に。作業中もトイレは大切。

水分はこまめにしっかりと。

あまりに暑いときは作業を休もう。



4 「周りに毎分感になろう!」

夢中になると、周囲が見えなくなる。

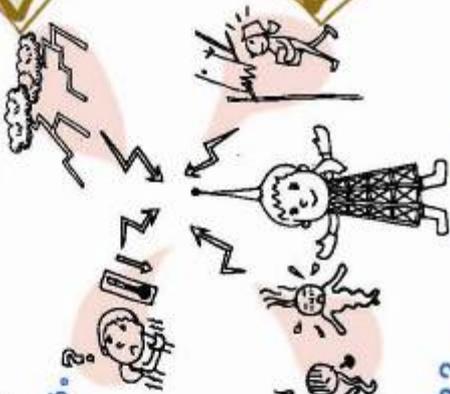
暑さはまだまだ続くかな?

天気は急変しない?

具合の悪そうな仲間はいない?

地元の人に無理させていない?

互いに声をかけ、確認しあおう。



5 「何かあったら」

ふらっ... ほお〜。くらっ??

「おかしいな」と感じたら、作業をやめて、リーダーに伝えよう。

どんなに予防をしても、ケガをすることがある。

その時に何をするか、できるか、役割を決めておくこと

あわてないで済むね。

6 「終わった後に」

暑い気持ちを一クールダウン。

活動報告ではヒヤッとした経験も伝えよう。

被災地でのお酒はひかえよう。

泊まるなら、明日も元気に活動するために

しっかり寝るのが今日最後の仕事。



イラスト：渡辺あゆい

このマニュアル集は、防災やまちの安全、まちづくりなどを目的に活動している市民活動団体の方々と、北区社会福祉協議会、東京都北区市民活動推進機構とで「市民活動特定分野連絡会（災害ボランティア分野）」を開催し、平常時からいわゆる「顔の見える」関係づくりをしながら検討を重ね、区と協議しながら作成してきたものです。

今後、センター立ち上げ訓練、運営訓練、模擬災害支援活動訓練や各種研修・講座、イベント、交流会などを実施していく中で、修正したり書き加えたりする必要が出てくるのが想定できます。そうした動きの中で、このマニュアルが実際の「災害ボランティアセンター」の運営に大きく貢献していくことを期待したいと思います。

北区災害ボランティアセンター

設置・運営マニュアル集

平成23年 3月 発行

平成26年 7月 改訂

発行 社会福祉法人北区社会福祉協議会
特定非営利活動法人東京都北区市民活動推進機構

編集 市民活動特定分野連絡会（災害ボランティア分野）
北区防災ボランティア
北区水辺クラブ
コミュニティラジオきたくなるまち
特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサエティ
東京ほくと医療生活協同組合保健委員会

編集協力 東京都北区危機管理室防災課

事務局 特定非営利活動法人東京都北区市民活動推進機構
東京都北区王子1-11-1
北とびあ4階 北区NPO・ボランティアぷらざ内

電話 03(5390)1771